

## 第2章 空間のベクトル (4)

### 3 ベクトルの成分

#### A ベクトルの成分表示

Oを原点とする座標空間で、x軸、y軸、z軸の正の向きに単位ベクトルを、それぞれ

$$\vec{e}_1, \vec{e}_2, \vec{e}_3$$

とおき、これをまとめて基本ベクトルという。

ここで、 $A(a_1, a_2, a_3)$ のとき、 $\vec{OA}$ を $\vec{e}_1, \vec{e}_2, \vec{e}_3$ で表そう。

図のように点P、Q、R、Sをとる。

点Qは点Aからxy平面に下した垂線の足とする。

このとき、

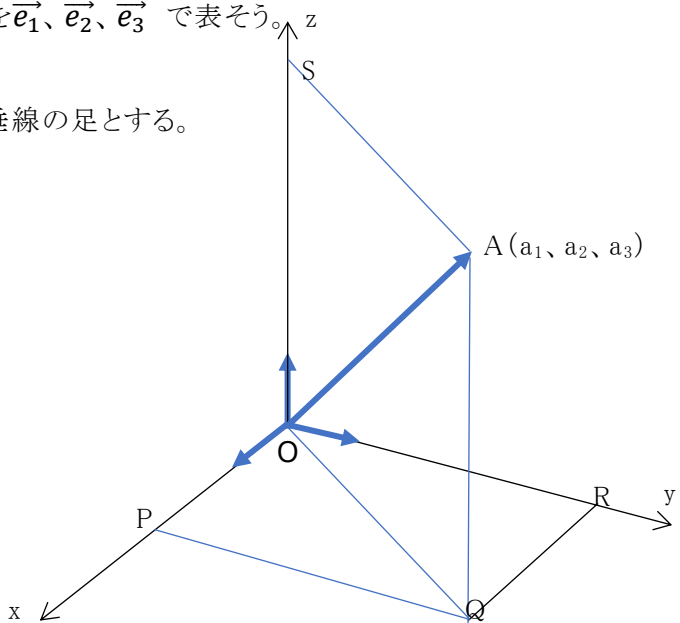
$$\vec{OP} = a_1 \vec{e}_1$$

$$\vec{OR} = a_2 \vec{e}_2$$

$$\vec{OS} = a_3 \vec{e}_3$$

より、

$$\begin{aligned} \vec{OA} &= \vec{OP} + \vec{PQ} + \vec{QA} = \vec{OP} + \vec{OR} + \vec{OS} \\ &= a_1 \vec{e}_1 + a_2 \vec{e}_2 + a_3 \vec{e}_3 \end{aligned}$$



上のようにベクトルを基本ベクトルで表したものをベクトルの基本ベクトル表示という。

また、3つの実数 $a_1, a_2, a_3$ をベクトル $\vec{a}$ の成分という。このとき、 $\vec{a}$ の成分の組は、終点Aの座標に等しい。そこで、

$$\vec{a} = (a_1, a_2, a_3)$$

とかき、これをベクトルの成分表示という。

図より、次のことが成り立つ。

$$\vec{a}=(a_1, a_2, a_3) \text{ のとき、} |\vec{a}|=OA=$$

<例9> 次のベクトルの大きさを求めよ。

(1)  $\vec{a}=(2, -3, 5)$

$$|\vec{a}|=\sqrt{2^2+(-3)^2+5^2}=\sqrt{4+9+25}=\sqrt{38}$$

(2)  $\vec{b}=(2, 4, -4)$

$$|\vec{b}|=\sqrt{2^2+4^2+(-4)^2}=\sqrt{4+16+16}=\sqrt{36}=6$$

### [B] 和・差・実数倍の成分表示

空間ベクトルの成分について一般に次のことが成り立つ

I  $(a_1, a_2, a_3)=(b_1, b_2, b_3)$  のとき、 $a_1=b_1, a_2=b_2, a_3=b_3$

II  $(a_1, a_2, a_3)+(b_1, b_2, b_3)=(a_1+b_1, a_2+b_2, a_3+b_3)$

$$(a_1, a_2, a_3)-(b_1, b_2, b_3)=(a_1-b_1, a_2-b_2, a_3-b_3)$$

III  $k(a_1, a_2, a_3)=(ka_1, ka_2, ka_3)$  ただし、 $k$ は実数とする。

<例10>  $\vec{a}=(1, -2, 3), \vec{b}=(-1, 3, 4)$  のとき、次のベクトルの成分と大きさを求めよ。

(1)  $\vec{a}+\vec{b}$

$$=(1, -2, 3)+(-1, 3, 4)=(0, 1, 7)$$

$$|\vec{a}+\vec{b}|=\sqrt{0+1+49}=\sqrt{50}=5\sqrt{2}$$

(2)  $2\vec{a}-3\vec{b}$

$$=(2, -4, 6)-(-3, 9, 12)=(5, -13, 6)$$

$$|2\vec{a}-3\vec{b}|=\sqrt{25+169+36}=\sqrt{230}$$